



美しい山・川・海
人が躍動する 交流と共生のまち

ふるさと

香美

今月号の主な内容

- ・第1回香美町青少年育成町民集会 … P. 2～3
- ・学校間交流システム … P. 4
- ・香住二中「絵の甲子園」で優勝！ … P. 5
- ・がんばった児童・生徒 … P. 6
- ・第1回香美町の四季を詠う短歌・俳句祭 … P. 7
- ・行政トピックス … P. 8～15
 こんにちは町長です
- ・Town News … P.16～17
- ・けいじばん … P.18～19
- ・キラリ香美町 … P.20



3

香美町広報
平成19年3月号
(第24号)

【写真】 かわいいひな人形ができました
(高井子育て・子育て支援センターにて)

2月20日から23日にかけて、村岡区の高井子育て・子育て支援センターで、色紙や割り箸などを使った「壁掛け用ひな人形」制作活動が行われました。

かわいいひな人形、どこに飾ろうか迷ってしまいますね。

第1回香美町青少年育成町民集会、子どもたちのふるさと学習体験発表会開催

伝統・文化・地域の人々とのふれあいから学んだもの

昨年6月に香美町青少年育成推進会議が立ち上がり、地域を挙げて青少年の育成活動を推進するネットワークの母体として活動を始めています。

そこで、町内で取り組んでいる「ふるさと教育推進プロジェクト」と連携を図り、2月25日、村岡体育館で、「子どもたちのふるさと学習体験発表」を盛り込んだ「第1回香美町青少年育成町民集会」が開催されました。

集会では、ふるさとの伝統・文化や、地域の人々とのふれあいから学んだ子どもたちの感動体験、自らの生き方への「気づき」や「思い」について、中学生に発表してもらいました。さらに、地域で取り組まれている青少年活動についての事例報告や総括講演を通じて、子どもたちを取り巻く学校、家庭、地域の役割などについて、今後の取り組みの方向性を探りました。



ふるさと紹介 柴山つ子からのメッセージ

柴山小学校

高学年の59人が、地域の人たちと全校生で行った海岸のクリーン活動、獲れたての魚を使った料理教室、カーの身出しなどの体験談や『おさかな天国』の楽器演奏などを



通して、「海と生きてきた柴山、これからも海と生きる柴山、豊かな海の恵みに感謝して、海を大切に守っていくのが私たちの役目です」と、自分たちの宝物であるふるさとの海の大切さを訴えました。

最後に、「し」…潮の香り漂い、「ば」…バス停を飾るきれいな花壇、「や」…優しい人々に育まれ、「ま」…まっすぐ素直な心で生きていこう、これからふるさと柴山のことをもっともっと勉強します」と締めくくりました。

佐津つ子 ふるさと探訪隊

たんぼうたい

佐津小学校

「チャレンジする子、思いやりのある子、ふるさとに誇りを持つ子―地域の自然・文化・人物に学ぼう―」を合言葉に、総合的な学習の時間などを利用して、ふるさと学習を行う「佐津つ子ふるさと探訪隊」。



校区で行われている米地の味噌づくり体験、アンケートによる「もっと住みやすい佐津のまち」の地図の制作、地区内のバリアフリーの検証、水生生物・海岸漂着物の調査、地域の遺跡や歴史、伝統行事、方言の学習などを通して、「ふるさと佐津」を再認識することができたと発表しました。

児童たちは「地区の人たちが地区に伝わる行事や文化、神社や寺などをとても大切にしていたことが分かり、今度は僕たちの番だ。僕たちが佐津の歴史をそれを知らない人たちに伝えていかねばならない」と語りました。

学校林（里山林）

を活用した
ものづくり体験

兔塚中学校

兔塚中学校を代表して3年の正垣しおりさんと2年の山根隆太くんが学校林を活用したものづくり体験について発表しました。

兔塚中学校には、生徒の祖父母や両親が昭和25年から30年頃にかけて植林した杉の学校林があります。その間伐材や雑木を利用し、地元の人の指導を受けながら、3年生は炭焼き体験、1年生はシイタケ栽培、2年生はベンチ作りとツル細工



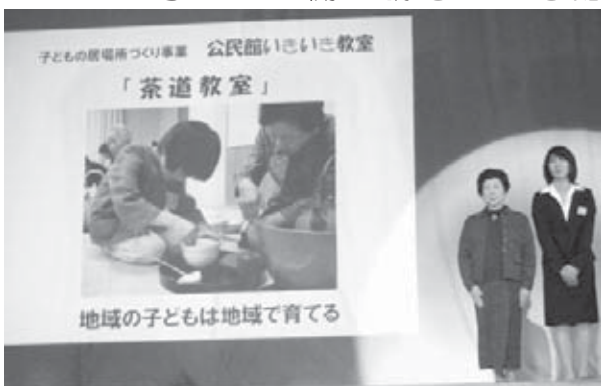
体験を行い、「普段の学校生活や家庭生活では味わえない多くの体験ができ、また、地元の指導者の巧みな技や豊富な知恵に直接触れることができ、この経験は大人になっても忘れられないものになる」と語りました。地域の人たちの指導を受けながら、自分たちの手で何かを作り上げること、やり遂げることの素晴らしさを訴えました。

青少年育成実践活動発表
地域の子どもは地域で育てる実践について
— 公民館いきいき教室を通して —

小代ふるさと教育応援団

小代区中央公民館の講座は児童・生徒を対象に地域の先輩が講師となる「公民館いきいき教室」、一般を対象とする「公民館講座」、高齢者を対象とする「熟年講座」が開かれています。

特に公民館いきいき教室の成果として、高齢者が子どもたちの講師になることで、生きがいづくりにつながっていることや、子どもの見守りの



際にも顔見知りの子どもが増え、顔の見える関係づくりにもつながっていることが挙げられました。

今回は、公民館いきいき教室の茶道教室につき茶道クラブいちよの会を代表して上田千枝子さんが「茶道教室を重ねるにつれ、子どもたちの眼がだんだんと輝いてくるのがわかりました」と教室での子どもたちの様子を語りました。

総括講演「子どもの生きる根っこを育て」

兵庫県立大学環境人間学部助教 尾崎公子氏



昨年11月に開催された「ふるさと教育交流会」&PTCAフォーラムで、今後の取り組みの課題として、地域活動への子どもへの参加の重要性について語られた尾崎氏は、今回、大人と子ども向き合い方について、「子どもも主人公のまちづくり」というテーマを投げかけられました。

これは、子どもが保護者や先生以外の地域の大人と接する機会が必要だという前回の定義からもう一歩進んだもので、地域の祭りや伝統行事などへの「大人主導での子どもへの参加」だけでなく、「子ども主導の活動」や「子どもも主導で大人を巻き込む活動」へ、さらに変えていくことが重要であるという考え方です。

地域の枠組みに子どもへの活動を合わせていくこととするのではなく、子どもへの活動から地域の様子が変わることも変わっていくことで、子どもたちが自己表現の新たな発揮場所を見つければ、地域の中で自分の意思を実現させることができたことに満足感を感じることが大切であると述べられました。

子どもたちの生きる根っこが太くしっかりと地に着いたものにするためにも、子どもたちに地域の中で自分を発揮することができる場所、自分を認めてもらえる場所を提供することが、今後、私たちが実践すべき課題であるということを提言されました。

離れていても、顔見で、話して、いっしょに学習

学校間交流システムを利用した交流授業はじまる



平成17年度に光ファイバを利用した地域インターネット網が整備され、町内の小中学校は高速な通信を行うことができます。その高速通信網により離れた学校間をネットワークで結び、パソコンやビデオカメラを利用した映像と音声で児童・生徒同士の交流などを行うのが「学校間交流システム」です。

学校間の交流を行うことで、学校・学級という枠にとられることなく、より多くの生徒・児童との交流を通じて、自己表現や相互理解を高めることが期待されます。

学校間交流システムの導入により、これまで直接顔を合わせて交流することが時間的・物理的に難しい離れた学校同士でも、それぞれの教室にいながら、同時進行で相手校の児童・生徒と意見交換や情報提供などを行うことができます。



射添小

↓↑

村岡小



小代小

↓↑

香住小



昨年11月2日、小代小学校（上）と香住小学校（下）の4年生同士で町内で初めて交流授業を開催しました。

自己紹介のあと、小代小の児童が香住を訪問した際に感じたことを発表すると、香住小の児童は感心した様子で聞いていました。

離れていても、表情を見ながらお互いの意見を交わすことができる学校間交流システムならではの授業が行われました。

2月22日、射添小学校（上）と村岡小学校（下）の4年生同士で交流授業が行われ、スクリーン越しに自己紹介やじゃんけんなどを行いました。最初は驚きと恥ずかしさで引つ込み思案だった児童たちも、時間がたつにつれ表情も和み、最後には「5年生になったら、自然学校で会おうね」と約束を交わしました。初めての体験に児童は授業が終わっても興奮した様子でした。

やったあ！

香住第二中学校 「絵の甲子園」で優勝！ 第66回全国教育美術展全国学校賞文部科学大臣奨励賞受賞



▲特選を受賞した13人の生徒たちと宮口先生



▲山盛 歩美さんの「作業小屋」



▲太田 靖宏くんの「ドック」

今回の受賞にあたり、美術担当の宮口久美夫先生は「この賞は、みんなが頑張ってくれた結果ですが、『美術』だけが頑張ったから受賞できるというわけではありませぬ。ほかの教科、部活動、家庭の協力、すべてがうまく機能しあつての結果だと思えます。二中の全生徒、全教職員、全保護者、バンザイです」と語られました。

今年行われた「第66回全国教育美術展」(財団法人教育美術振興会主催)で、町立香住第二中学校(中家憲和校長・生徒数60人)が全国学校賞文部科学大臣奨励賞(応募総数2832校)を初受賞しました。この賞は、全国の保育所・幼稚園、小学校、中学校の中から各1校(園)が選ばれる学校賞の中でも最高の賞で、いわば「絵の甲子園」で優勝したような大変名誉ある賞です。あわせて地区学校賞でも教育美術奨励賞を受賞しています。また、個人賞(応募総数12万6722点)では、香住第二中学校から応募した44点の作品のうち、特選に13点、入選に10点、佳作に2点の計25点が選ばれるという快挙を成し遂げました。

全国教育美術展は、美術教育や美術活動の奨励を目的に、大正11年に「全国図画展」として発足した国内でも最も伝統のある子どもの絵の展覧会です。各都道府県ならびに指定都市単位に審査を行う地区審査と地区審査で選ばれた入選作品を対象に審査を行う全国審査の2本立ての審査が行われています。

個人賞の受賞者は次のとおり(敬称略)です。なお、受賞された中から、『教育美術 2月号』(財)教育美術振興会)に掲載された太田靖宏くんと山盛歩美さんの作品を上にご紹介します。

- | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1年 | 3年 | 佳作 | 1年 | 2年 | 3年 | 入選 | 1年 | 2年 | 3年 | 特選 |
| 荒木 歩 <small>あゆむ</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 貴彰 <small>たかあき</small> | 電村 悠真 <small>ゆま</small> | 電村 悠真 <small>ゆま</small> | 谷 貴彰 <small>たかあき</small> | 小田 紗耶加 <small>さやか</small> | 山盛 歩美 <small>あゆみ</small> | 太田 靖宏 <small>やすひろ</small> | 太田 靖宏 <small>やすひろ</small> |
| 電村 明穂 <small>あきほ</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | (無南垣) | (浜安木) | (無南垣) | (無南垣) | 秋山 朋彦 <small>ともひこ</small> | (訓谷) | (無南垣) | (無南垣) |
| (下岡) | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米田 智裕 <small>ともひろ</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 山下 真 <small>まこと</small> | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 寺川 成美 <small>なるみ</small> | 寺川 成美 <small>なるみ</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 松下 将也 <small>まさや</small> | (隼人) | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 山本 渡 <small>わたる</small> | 八木 孝明 <small>たかあき</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 安井 麻耶 <small>まや</small> | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | (無南垣) | 米地 | (訓谷) | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | (下岡) | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | 西谷 | 濱名 洋行 <small>ひろゆき</small> | 田淵 美里 <small>みさと</small> | 米地 | 米地 | 小田 恵里 <small>えり</small> | 小田 恵里 <small>えり</small> |
| | 谷 幸剛 <small>ゆききょう</small> | | | | | | | | | |

平成18年度がんばった児童・生徒



3月1日、村岡区中央公民館で、町内の小・中学校の生徒・児童で、スポーツや芸術などで活躍した児童・生徒を表彰する「平成18年度児童生徒表彰式」を行いました。今年、5校、28人の皆さんが表彰されました。
(順不同・敬称略)

【町長表彰】(5校5人)

- 射添小学校**
兵庫県学校歯科保健大会 全日本学校歯科保健優良校
- 香住第二中学校**
第66回全国教育美術展 文部科学大臣奨励賞
- 地主成希(村岡中3年)**
第52回兵庫県中学校スキー選手権大会男子クワースカントフリー第1位
- 西谷勇祐(兎塚中1年)**
第13回近畿中学校スキー大会男子大回転第1位、第52回兵庫県中学校スキー選手権大会男子回転第2位

井上航(兎塚中3年)

第52回兵庫県中学校スキー選手権大会男子クワースカントフリー第1位

兎塚中学校スキー部

第52回兵庫県中学校スキー選手権大会団体総合優勝(男子)

兎塚中学校

兵庫県学校歯科保健大会 兵庫県学校歯科保健最優秀校

水口純記(射添中3年)

第18回兵庫のまつり・ふれあいの祭典短歌祭 ふれあいの祭典実行委員会代表会長賞

吉岡実奈美(小代中3年)

第13回近畿中学校スキー大会女子クワースカントフリー第3位、第52回兵庫県中学校スキー選手権大会女子クワースカントフリー第1位

小代中学校

第52回兵庫県中学校スキー選手権大会団体総合優勝(女子)

【教育長表彰】(23人)

- 清水秀斗(長井小6年)**
第52回青少年読書感想文兵庫県コンクール兵庫県教育委員会賞
- 澤田海大(小代小1年)**
第58回兵庫県幼・小・中造形教育展推奨(神戸新聞社賞)
- 稲垣洸雄(香住二中1年)**
第66回全国教育美術展特選
- 小田紗耶加(香住二中1年)**
第66回全国教育美術展特選
- 亀村優華(香住二中1年)**
第66回全国教育美術展特選
- 永田翔(香住二中1年)**
第66回全国教育美術展特選
- 山本遼(香住二中1年)**
第66回全国教育美術展特選
- 秋山朋彦(香住二中2年)**
第66回全国教育美術展特選
- 木下真(香住二中2年)**
第66回全国教育美術展特選
- 濱名洋行(香住二中2年)**
第66回全国教育美術展特選
- 八木孝明(香住二中2年)**
第66回全国教育美術展特選
- 山盛歩美(香住二中2年)**
第66回全国教育美術展特選
- 太田靖宏(香住二中3年)**
第66回全国教育美術展特選
- 小田恵里(香住二中3年)**
第66回全国教育美術展特選
- 寺川成美(香住二中3年)**
第66回全国教育美術展特選
- 田淵美里(香住二中3年)**
平成18年度中学生作曲コンクール銀賞
- 穴田雄大(村岡中3年)**
第52回兵庫県中学校スキー選手権大会男子大回転第3位
- 西谷大我(兎塚中3年)**
第52回兵庫県中学校スキー選手権大会男子大回転第2位
- 山本哲司(兎塚中3年)**
第52回兵庫県中学校スキー選手権大会男子クワースカントフリー第3位
- 久保井郁美(小代中2年)**
第52回兵庫県中学校スキー選手権大会女子クワースカントフリー第3位
- 藤澤亮裕(小代中3年)**
第52回兵庫県中学校スキー選手権大会男子クワースカントフリー第2位
- 長瀬優也(小代中3年)**
JOCジュニアオリンピックカップ第20回全国都道府県対抗中学バレーボール大会兵庫県代表選抜選手
- 北ありさ(小代中3年)**
第52回兵庫県中学校スキー選手権大会女子クワースカントフリー第2位

第1回香美町の四季を詠う短歌・俳句祭

町内外から3307点の応募
 (短歌1444首、俳句1863句)

昨年まで、香住区(旧香住町)で実施していた「かすみの四季を詠う短歌・俳句祭」を全町に広げ、本年度から「第1回香美町の四季を詠う短歌・俳句祭」とし、「海のまち」「山のまち」の自然、生活、歴史、文化、風土などを題材に短歌・俳句を募集しました。今回は、小学生・中学生・一般(高校生を含む)合わせて、短歌1444首、俳句1863句の応募があり、短歌・俳句とも、一般・小学生・中学生の各部門で、最優秀(1点)、優秀(海の部・山の部それぞれ1点)、佳作(10点)、計78点の入賞作品を選定しました。

3月3日、香住区中央公民館で『第1回 香美町の四季を詠う短歌・俳句祭』を開催し、入賞作品の発表と入賞者の表彰を行いました。入賞作品のうち各部門の最優秀賞と優秀賞の作品をご紹介します。(敬称略)

◆短歌◆

●小学生の部

●最優秀賞 横浪 菜央(香住小5年)

風がふくゆれるすすきと風の音

●優秀賞(海の部) 竹内 久乃(余部小6年)

風とすすきの静かな時間

●優秀賞(山の部) 谷洋香(射添小4年)

元気がでるよぼくといつしよに

●優秀賞(山の部) 井上 舞(小代小6年)

かみちようのあきのこうようきれいな

がっこうのまどいけしきです

●中学生の部

●最優秀賞 向谷 亜依(射添中3年)

真つ白の自分の息を目で追えば

●優秀賞(海の部) 小椋 紗織(香住一中2年)

視界のすみに初雪映る

●優秀賞(山の部) 徳山 温美(村岡中3年)

一年の四季折々で変わりゆく

●優秀賞(山の部) 徳山 温美(村岡中3年)

星月夜しずまりかえった山々の

深きやみよりしかの鳴き声

●一般の部

●最優秀賞 井口 利次(小代区石寺)

霧晴れて木の苗を背に鉢伏に

●優秀賞(海の部) 大谷 正(神戸市)

登る人らの縦列が見ゆ

●優秀賞(山の部) 仲加代子(三田市)

雨催う但馬海岸そら暗し

●優秀賞(山の部) 中井 明日美(川西市)

香住は冬の景となりたり

●優秀賞(山の部) 矢田川 岩瀬の音の七曲り

あたりはすべて冬支度急ぐ

◆俳句◆

●小学生の部

●最優秀賞 須川 恵梨(長井小6年)

海の雪受けてかがやく松葉ガニ

●優秀賞(海の部) 今西 啓人(柴山小6年)

冬の海大型漁船出航する

●優秀賞(山の部) 井上 舞(小代小6年)

小代牛毛並み逆う秋の風

●中学生の部

●最優秀賞 片岡 泰章(香住一中1年)

赤い車両渡るよ雪降る鉄橋を

●優秀賞(海の部) 亀村 優華(香住二中1年)

冬の朝遠く聞こえるせりの声

●優秀賞(山の部) 森脇 亜里沙(村岡中3年)

雪囲い作る祖母の手あつたかい

●最優秀賞 平峰 道子(豊岡市)

●優秀賞(海の部) 有田 美代子(香住区香住)

山積みの紅蟹を選ぶ月あかり

●優秀賞(山の部) 仲加代子(三田市)

金色の曼茶羅となる枯葎

●最優秀賞 平峰 道子(豊岡市)

●優秀賞(海の部) 有田 美代子(香住区香住)

山積みの紅蟹を選ぶ月あかり

●優秀賞(山の部) 仲加代子(三田市)

金色の曼茶羅となる枯葎

●最優秀賞 平峰 道子(豊岡市)

●優秀賞(海の部) 有田 美代子(香住区香住)

山積みの紅蟹を選ぶ月あかり

●優秀賞(山の部) 仲加代子(三田市)

金色の曼茶羅となる枯葎



昨年の町職員の給与を公表します。

～ 行財政改革大綱に基づき、さらなる給与削減を行います ～

町では、行政運営の透明性をより一層高めるため、町職員の給与などの状況を毎年公表します。

(※決算統計に準じた数値であるため、一般会計決算の数値と若干異なります)

なお、平成18年度には、特別職の給与などを削減(10～20%)し、一般行政職についても調整手当(5%)を廃止し人件費の削減を図ってきました。町行財政の健全化に向け、平成19年度にはさらに特別職(議員を除く)および一般職員の給料の削減を行います。これらは、今年の3月議会の議決を経て、平成19年度予算に反映します。

●人件費の状況(普通会計決算)

年度	住民基本台帳人口 平成18年3月31日現在	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	前年度の 人件費率
17年度	22,315人 (外国人登録を除く)	15,742,364千円	263,484千円	2,321,445千円	14.7%	15.9%

※人件費Bには、一般職給与や共済費(社会保険料)のほか、特別職給与、議会議員報酬、各種委員や消防団員など非常勤職員に支給される報酬などを含みます。

●特別職の報酬などの状況

◇給料月額など(平成18年4月1日現在)

給料	町長	654,400円 (818,000円)
	助役	555,900円 (654,000円)
報酬	議長	288,900円 (321,000円)
	副議長	213,300円 (237,000円)
	議員	192,600円 (214,000円)

◇期末手当

町長	6月期	2.10月分
	12月期	2.25月分
	計	4.35月分
助役	6月期	2.10月分
	12月期	2.25月分
	計	4.35月分

※下段の()内の数値は平成17年度の金額で、平成18年4月1日から町長20%、助役15%、議会議員10%減額し、教育長給料についても10%減額しています。

●職員の平均給料月額、平均年齢の状況

(平成18年4月1日現在)

区分	一般行政職	
	平均給料月額	平均年齢
香美町	321,200円	40.8歳
国	328,477円	40.4歳

●各手当の支給対象職員1人当たり平均支給月額の状況

(平成18年4月1日現在)

手当名	支給職員数	平均支給月額
扶養手当	130人	21,600円
住居手当	88人	7,100円
通勤手当	175人	7,300円
調整手当	平成18年4月から廃止 地域手当の不導入	

●職員手当の状況

手当名	香美町			国		
期末手当	(平成17年度支給割合)					
	6月期	1.40月分	0.70月分	6月期	1.40月分	0.70月分
	12月期	1.60月分	0.75月分	12月期	1.60月分	0.75月分
勤勉手当	計	3.00月分	1.45月分	計	3.00月分	1.45月分
	職制上の段階、職務の階級などによる加算措置					
退職手当	(支給率)					
		自己都合	勸奨・定年		自己都合	勸奨・定年
	勤続20年	21.00月分	27.30月分	勤続20年	21.00月分	27.30月分
	勤続25年	33.75月分	42.12月分	勤続25年	33.75月分	42.12月分
	勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分	

●問い合わせ先 役場総務部総務課 ☎0796・36・1111

早くて
便利!

コウノトリ但馬空港をご利用ください

町では、コウノトリ但馬空港⇄大阪伊丹空港間を利用された方に運賃助成を行っています。
早くて便利なコウノトリ但馬空港をぜひご利用ください。

●助成対象

- ①町内に住所を有している方
- ②町内に所在する事務所、事業所などに勤務している方（勤務先の証明が必要）
- ③香美町出身の学生

●コウノトリ但馬空港～大阪伊丹空港間の運賃・利用助成金額〔主なもの〕（片道）

区分	種別	運賃		但馬空港推進協議会助成金	町助成金	本人負担額
大人普通運賃	OW	H19年3月まで	11,000円	1,500円	3,000円	6,500円
		H19年4月以降	11,400円			6,900円
小児普通運賃	CH	H19年3月まで	5,500円	—	2,000円	3,500円
		H19年4月以降	5,700円			3,700円
先得割引	SX	H19年3月まで	6,500円	—	1,500円	5,000円
		H19年4月以降	6,900円			5,400円
特便割引1	FT	H19年3月まで	7,500円	—	2,000円	5,500円
		H19年4月以降	7,900円			5,900円

※平成19年4月1日から燃料の高騰により、航空運賃が値上げされます。

●助成手続き

搭乗後に搭乗券の半券、印鑑、振込先のわかるものをご持参いただき、役場総務部企画課または各地域局地域振興課で申請書に必要事項をご記入いただくなどの手続きを行ってください。（申請書は、町のホームページからもダウンロードできます）

●コウノトリ但馬空港の運行ダイヤ

《平成19年3月》

①コウノトリ但馬空港出発

コウノトリ但馬	大阪伊丹	東京羽田	所要時間
10:05 (JAC2322) → 10:40	11:30 (JAL1510) → 12:35		2時間30分
18:05 (JAC2324) → 18:40	19:30 (JAL1526) → 20:35		2時間30分

※発着時刻は、天候そのほか、やむを得ない理由により変更される場合がありますので、搭乗前にご確認ください。

②東京羽田空港・大阪伊丹空港出発

東京羽田	大阪伊丹	コウノトリ但馬	所要時間
7:30 (JAL1503) → 8:40	9:00 (JAC2321) → 9:40		2時間10分
15:30 (JAL1519) → 16:40	17:00 (JAC2323) → 17:40		2時間10分

《平成19年4月～5月》

①コウノトリ但馬空港出発

コウノトリ但馬	大阪伊丹	東京羽田	所要時間
10:00 (JAC2322) → 10:35	11:30 (JAL0114) → 12:40		2時間40分
18:00 (JAC2324) → 18:35	19:30 (JAL0134) → 20:40		2時間40分

②東京羽田空港・大阪伊丹空港出発

東京羽田	大阪伊丹	コウノトリ但馬	所要時間
7:30 (JAL0103) → 8:35	8:55 (JAC2321) → 9:35		2時間05分
15:30 (JAL0125) → 16:35	16:55 (JAC2323) → 17:35		2時間05分

●問い合わせ先

役場総務部企画課 ☎0796・36・1111
 村岡地域局地域振興課 ☎0796・94・0321
 小代地域局地域振興課 ☎0796・97・3111



町建設業協会と災害時における 応急対策業務に関する協定を締結



2月28日、町と香美町建設業協会（中村暁会長）は「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結しました。台風や集中豪雨などの際には、各地で同時に災害が発生し、日常生活に大きな支障が生じることがあります。このようなときに迅速な現場対応と二次災害の防止を図るため、行政と建設業者とが連携する必要があると見られます。

しかし、災害は広範囲に発生し、業者も同時に複数個所の現場を受け持つことなどから、応急対策に向かってもらう業者の選定が円滑に行えず、現場対応に遅れが生じることなどが懸念されています。

今回の協定締結により、災害発生時には、町の要請を受けた建設業協会が、各協会の保有する資機材や労力、災害現場の位置などを考慮し、選定した業者に対応を指示されます。出動した業者は、河川での土のう積み、矢板による仮締め切りなどの応急対策を行います。万一の災害時に、より迅速な応急対策が行われるよう期待されます。



皆さんのご協力で、但馬で1番！ フェニックス共済加入率15%



年間5千円の掛け金で自然災害時の住宅再建に最高6百万円の支援が得られる「フェニックス共済（兵庫県住宅再建共済制度）」。

町民の皆さんに深いご理解とご協力をいただき、香美町は今年1月末現在の加入率が但馬（3市2町）の中で唯一15%（対象6355戸のうち954戸が加入）を超えています。このことを評価され、2月19日、香住文化会館（香住区香住）で行われた香美町防災講演会の中で、県知事の感謝状をいただきました。

郵便局の窓口で フェニックス共済の申込み受付が可能に！

2月から県内の郵便局（簡易局は除く）でも、フェニックス共済の加入申し込みの取り次ぎが始まりましたので、ご加入を希望されます方は、この機会にぜひご利用下さい。はばタンシールが目印です。

●問い合わせ先

（財）県住宅再建共済基金

☎078・362・9400

役場健康福祉部町民課

☎0796・36・1111



こんにちは 町長です

ふるさと教育の一層の取り組みを

近年、青少年をとりまく環境が複雑・多様化してきている中で、町民の皆さんには、子供達の健全な成長を願って、地域で一体となって積極的な活動を展開していただいておりますこと、心から厚くお礼申し上げます。

とりわけ、香美町発足を機に、全町的な取り組みをしていただいております「ふるさと教育」では、多くの皆さんがふるさと教育応援団などに進んで登録いただき、校区ごとに学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいただいておりますこと深く敬意を表します。

本格的な取り組みが始まって、まだ一年あまりにもかかわらず、子供達の目には生き生きとした意欲が感じられます。

先日の「ふるさと学習体験発表会」では、どの学校の生徒も、町民の皆さんと一緒に体験した「ふるさと」に、誇りをもちつつあることが強く感じられました。私達はこうした確かな手ごたえをもとに、さらに一層、学校・家庭・地域がひとつになって、たくましい子供達を育てていかなければなりません。町民の皆さんの一層のご尽力をお願いする次第です。

香美町長 藤原久嗣

県民交流広場事業のご紹介

兵庫県では、「参画と協働による兵庫づくり」の具体的な支援策として、「地域づくり活動応援事業」など、地域団体などによる創意工夫に富んだ活動を支援してきました。そして、平成18年度から住民組織による身近な活動の「場」づくりと活動の充実を支援するため、「県民交流広場事業」を本格実施しています。

整備する施設やそこで行う活動は地域によってさまざまです。あなたの地域の「夢」と「やる気」を形に変えてみませんか。

●実施地域の採択期間

平成18年度～22年度までの5カ年（予定）

●募集期間

平成19年6月～7月（予定）

（期間内に必要書類を町へ提出）

●対象となる地域

原則として、小学校区を区域とするコミュニティとし、小学校区を統合または分割した区域も可能です。（校区統合は中学校区の範囲内で）

●申請主体

自治会、婦人会、老人クラブ、PTA、ボランティアグループ、NPOなどで構成された住民組織（地域推進委員会）

（※まちづくり協議会などの既存組織も可能ですが、地域代表性（住民の総意の反映）と公正・透明な運営が必要となります）

●対象となる取り組み

住民の誰もが利用できるコミュニティの拠点整備（改修、新築、備品購入など）と地域づくり活動の展開が対象となります。（新たな活動の開始、

既存活動の充実、集会所など地域の拠点にふさわしい施設の整備）

平成18年度は小代小学校区で、お年寄り子どもたちを対象とした世代間交流のためのふれあい喫茶の実施などを目的に、香美町地域活性センター「小代物産館」の改修が採択されました。

※一度助成を受けた地域は、新たに助成を受けることができません。



●助成額

① 小学校区ごとに、施設整備費は1千万円以内、活動費は3百万円以内で、それぞれ必要と認められる額を助成

② 備品購入のみの整備は整備費限度額2分の1

※校区統合：1校区の額×統合数（3限度）

※校区分割：1校区の額を分割した額

●助成金の使途

① 整備費
コミュニティ施設の工事費、施設賃借、備品購入、借上などの経費

② 活動費

印刷・消耗品などの事業経費、ホームページ作成・ボランティア謝金・光熱水費などの運営経費

※助成金はおおむね5年間に分割して助成

※建物工事などの主要な整備は1～2年目に実施

●助成方法

採択された地域に対し、県民局から直接助成されます。

●問い合わせ先

但馬県民局県民生活部地域協働課

☎ 0796・26・3644

役場総務部企画課

☎ 0796・36・1111

民生・児童協力委員の活動について

民生・児童協力委員は、日々の生活の中で、困っている人や援護が必要な人の情報を担当の民生委員・児童委員に連絡・通報し、速やかな援助が受けられるようにすることが主な任務です。



民生・児童協力委員は兵庫県独自の制度で、県知事および県民生委員児童委員連合会長から委嘱を受けた113人の委員が町内で活動されていますので、お困りのことがあれば、お近くの民生・児童協力委員か民生委員・児童委員にご相談ください。

●民生・児童協力委員の主な活動内容

- ① 地域住民の生活状態の適切な把握と民生委員・児童委員への連絡
- ② 要援護家庭への友愛訪問
- ③ 県や町の福祉施策の普及啓発
- ④ 地域福祉活動への協力

●問い合わせ先

役場健康福祉部福祉課

☎ 0796・36・1111

村岡地域局健康福祉課

☎ 0796・94・0321

小代地域局健康福祉課

☎ 0796・97・3111

第26回差別をなくする町民のつどい
「差別のない優しい町づくりをめざして」



2月17日、香住区中央公民館で旧香住町の頃から続く「第26回差別をなくする町民のつどい」（主催・香美町人権教育研究協議会香住支部）が開催され、小中学校の児童・生徒や公民館関係者らが実践発表を行い、差別をなくするためにはどのようなことを考えなければならぬかを訴えました。

発表（写真右）では、1年生から3年生が「どの何気なく使う言葉を振り返り、どんな言葉が人を傷つけるのかを訴えました。また、香住第二中学校2年生の発表『ふれあい Hearts』（写真左）では、校外活動などを通し、変わっていった生徒の等身大の気持ちがあぶり出され、参加者は改めて「差別をなくすること」の重要性を考えさせられました。



『ことばは まほう』と題した柴山小学校の

都市との交流 尼崎市・門真市
今年も雪をプレゼント



雪不足で心配されましたが、今年も交流を続けている尼崎市と門真市に雪をプレゼントしました。

2月11日、尼崎市の丸橋公園で開催された「第15回ふるさと雪まつり」に、小代区新屋の尼崎市立美方高原自然の家付近で積み込んだ10トンの雪を送りました。会場では、大勢の子どもたちが降ろされた雪の山に上がり、お尻で滑り降りるなどして思う存分雪の感触を楽しみました。（写真右）



2月23日、門真市の門真市立五月田小学校へ、村岡区の森林基幹道妙見蘇武線で積み込んだ10トンの雪をプレゼントしました。小学校の校庭では約150人の児童が、降ろされた雪の山に一斉に歩み寄り、雪合戦をするなどして、はしゃいでいました。（写真左）

平成19年度食生活改善
リーダー養成講座生の募集

この養成講座は、食生活の改善で生活習慣病などを予防し、自分を含め地域全体の人の健康を守るために、地域の中で食生活の改善を推進する人々を養成することを目的に開講します。

●受講要件

食生活改善に関心があり、月1回の講座に出席できる人

●講座内容

食育から介護食までの幅広い食に関する講義と調理実習を内容とします。

平成19年度は、新たにメタボリックシンドロームや食事バランスガイドの活用なども取り入れていきます。

講座は香住会場と村岡・小代会場の2会場で開催します。講座回数は年12回で、10回以上の出席で修了とします。

●参加費用

実習材料代の一部として2千円を負担していただきます。テキスト代などは町が負担します。

●申し込み期日

3月20日（火）まで

●申し込み（問い合わせ）先

役場健康福祉部健康課

☎0796・36・1111

村岡地域局健康福祉課

☎0796・94・0321

小代地域局健康福祉課

☎0796・97・3111



第62回国体スキー

町内11選手が健闘

2月10日から13日にかけて、秋田県仙北市と鹿角市で開かれた第62回国民体育大会冬季大会のスキー競技会。県内25人の選手の内、次の11人の選手が香美町から出場しました。



▲仙北市で開かれた開催式で

●スキー・ジャイアントスラローム

【成年男子A・55位】

今井 智征（小代区秋岡・近畿大2年）

【成年男子A・78位】

田邊 正和（村岡区大笹・県立豊岡総合高教員）

【成年男子B・31位】

中村 智彦（村岡区大糠・香美町役場）

【成年男子C・69位】

本城 良彰（小代区秋岡・香美町役場小代地域局）

【少年男子・44位】

今井 和希（小代区秋岡・村岡高2年）

【少年男子・58位】

岡田 元洋（村岡区板仕野・村岡高2年）

【少年女子・56位】

西村 理絵（村岡区大糠・村岡高3年）

●スキー・クロスカントリー

【少年男子・80位】

西村 太一（小代区忠宮・村岡高1年）

【少年男子・82位】

田淵 良典（養父市・村岡高3年）

【少年女子46位】

井上 優香里（小代区城山・村岡高1年）

【少年女子52位】

北愛 矢菜（小代区秋岡・八鹿高2年）

兵庫県議会議員選挙

投票日は4月8日（日）

1期日前投票は3月31日（土）～4月7日（土）

4月8日（日）は、兵庫県議会議員選挙の投票日です。

私たちの代表を決める大切な選挙です。皆さんそろって投票しましょう。

当日、仕事やレジャーで投票に行けない人は、3月31日（土）～4月7日（土）に期日前投票を行いましょ。

●問い合わせ先

香美町選挙管理委員会（役場総務部総務課内）
☎0796・36・1111

みんなで投票、みんなで参加、あなたの一票大切に。



おめでとうございます 町内から表彰受賞者がいました

（順不同・敬称略）

●中ブロック体育指導委員連絡協議会 優良団体表彰

「暮らしの中にスポーツを」をスローガンに社会体育振興に貢献

●香美町体育指導委員会（委員長 松森 與志孝） 兵庫県体育協会表彰 体育功労賞

（長年、スポーツ振興に寄与。香住町体育協会会長を19年間）

香美町体育協会 副会長 橋 秀夫さん
（香住区香住）

◆平成19年度「道路ふれあい月間」推進標語募集◆

- ▶募集内容 道路は国民共有の、つまりあなたの財産です。
- ▶応募期間 3月31日（土）まで（当日必着）
- ▶応募方法 応募ハガキ（50円切手貼付必要）か官製ハガキ1枚に、標語1点と氏名、住所、電話番号、性別、年齢、職業を記入。パソコン、携帯電話は次のURLへ
<https://ssl.jollis.co.jp/hyougo/index.html>
- ▶送付先 道路センター 平成19年度「道路ふれあい月間」推進標語募集係
〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-19 KY 溜池ビル3階
- ▶問い合わせ先 国土交通省道路局道路交通管理課
☎03・5253・8111

◆空き家に関する情報◆

最近、都会から田舎暮らしを希望される方が増えているので、町では少子化対策や団塊の世代などの定住対策として、また、空き家の有効活用をした都市住民との交流や地域の活性化を図るため、空き家情報の提供を求めています。

町内に、賃貸・売買可能な空き家（一般住宅）をお持ちの方はお知らせください。皆さんから寄せられた空き家物件情報は、定住希望者などへ情報提供します。交渉・契約などについては当事者間でお願いします。

▶問い合わせ先

役場総務部企画課 ☎0796・36・1111



平成19年度 固定資産評価額の縦覧

縦覧制度は、納税義務者が納付すべき固定資産税に係る土地や家屋の評価額が適正かどうかを町内のほかの土地や家屋の評価額と比較して検討していただくための制度です。

●縦覧期間

4月2日(月)～5月1日(火)の平日
午前8時30分～午後5時15分

●縦覧場所

役場総務部税務課、各地域局地域振興課

●縦覧できる方

固定資産税納税者

●縦覧できる帳簿

土地の固定資産税納税義務者は「土地価格等縦覧帳簿」(土地の所在、地番、地目、地積及び価格)、「家屋の固定資産税納税義務者は「家屋価格等縦覧帳簿」(家屋の所在、家屋番号、種類、構造、床面積及び価格)」

●手数料

無料

平成19年度 固定資産税課税台帳の閲覧

納税義務者は、自己の所有する固定資産の課税台帳を閲覧することができます。また、借地人や借家人は、賃貸借契約の対象となっている固定資産の課税台帳を閲覧することができます。

●閲覧時間

平日の午前8時30分～午後5時15分

※納税義務者以外の方は、権利などが確認できる書類を持参してください。

●問い合わせ先

役場総務部税務課 ☎ 0796・36・1111
村岡地域局地域振興課 ☎ 0796・94・0321
小代地域局地域振興課 ☎ 0796・97・3111

70歳未満の国民健康保険加入者が入院される場合は、限度額適用認定の申請を!

平成19年4月から国民健康保険にご加入の70歳未満の方が入院される場合、あらかじめ役場(保険者)に申請し「限度額適用認定証(以下「認定証」という)」の交付を受けておくと、入院医療費のお支払いを一定の限度額(所得区分ごとの自己負担限度額)にとどめることができます。

なお、70歳以上の方については、すでに同様の取り扱いとなっています。



●手続きに必要なもの

- ・国民健康保険証
- ・印鑑

★ご注意!

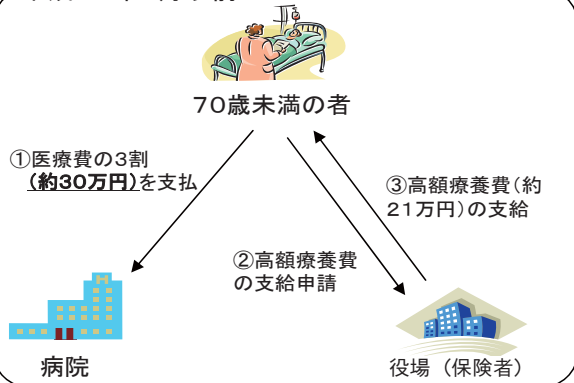
- 認定証の交付を受けずに窓口負担された場合は、今までのとおり高額療養費の支給申請を行ってください。
- 国民健康保険税の滞納がある方は、認定証の交付を受けられない場合があります。
- 加入している保険が国民健康保険以外の方も、同様の制度に改正されますので、それぞれご加入の保険者にお問い合わせください。

●問い合わせ先

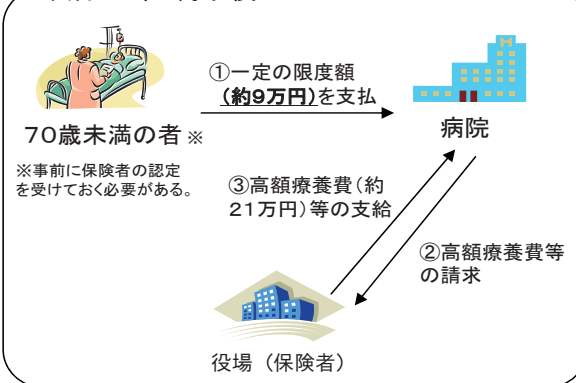
役場健康福祉部健康課 ☎ 0796・36・1111
村岡地域局健康福祉課 ☎ 0796・94・0321
小代地域局健康福祉課 ☎ 0796・97・3111

(例) 手術で10日間入院した時 (医療費約100万円の場合)

平成19年3月以前



平成19年4月以後



平成 19 年度 香美町ふるさと便 (ふるさとの会) 会員募集

町では、香住区・村岡区・小代区それぞれの特産品をお届けする平成 19 年度香美町ふるさと便を実施します。

年会費をお支払いいただくと、かすみコース (ふるさと香住会、香住ガニなど海の幸を中心に年 3 回)、むらおかコース (ふるさと村岡の会、山野の素朴な食材を中心に年 2 回)、おじろコース (但馬ふるさと小代協会、但馬牛をメインに田舎らしい産品を年 3 回) の中からお選びいただいた特色のある特産品をお届けします。遠方にいらっしゃるご親戚、ご家族、ご友人へぜひご案内ください。



●年会費

- ・かすみコース (ふるさと香住会) 1 万 5 千円
- ・むらおかコース (ふるさと村岡の会) 1 万円
- ・おじろコース (但馬ふるさと小代協会) 1 万 5 千円

●申込期限

3 月 23 日 (金) <専用の払込用紙による入金期限>
※中途入会も可能です。

●問い合わせ先

役場産業部観光課 (香美町ふるさと便 係)

電話 0 7 9 6 ・ 3 6 ・ 1 1 1 1

FAX 0 7 9 6 ・ 3 6 ・ 3 8 0 9

E メール kankou@town.mikata-kami.lg.jp

町内公的医療機関のご紹介

小代診療所 (小代区域山)

所在地：小代区域山 301

医科：TEL 0796・97・2023 FAX 0796・97・2073

歯科：TEL 0796・97・2396 FAX 0796・97・3196



当診療所は、医科と歯科を併設しており、町民の皆さんの健康を守り、明るい地域づくりを目指して日々の医療活動にあたっています。

医科では、問診を中心

に皆さんの健康状態や生活習慣を的確に把握し、診察に当たるよう努めています。

歯科では、治療はもとより、歯周病予防のためのブラッシング指導を行うなど、8020運動(80歳にして自分の歯を20本残そうという運動)をとおして、全身の健康増進に寄与できるよう努めています。

今後とも町民の皆さんの健康増進を図るため、地域の一次医療の拠点として位置づけ、充実させていきたいと考えています。

●診療科目

医科 (内科、外科)、歯科

●施設概要

- ・敷地面積 1,547.9㎡ ・延床面積 815.5㎡
- ・鉄筋コンクリート 2 階建 (2 階は小代保健センター)
- ・駐車場 11 台分

●診療日・時間

医科：月曜日～金曜日

8:30～12:00、13:00～17:00

歯科：月曜日～土曜日 (ただし、第 2、第 4 土曜日休診)

8:30～13:00、14:00～18:00

(ただし、土曜日は午前のみ)

※医科、歯科とも往診や訪問診療も行っています。

●職員

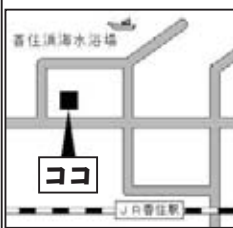
医科：医師 1 人、看護師 2 人、事務員 2 人

歯科：歯科医師 2 人、歯科技工士 1 人、
歯科衛生士 4 人、歯科助手 4 人

お食事処 海人

K A I T O

海人は豊かな自然の中でとれた旬の食材を皆様に心行くまで堪能していただきます。



- 香住駅から徒歩 5 分
- 大型バス駐車場もございます
- 20 名様での宴会ができる座敷
- 8 名様までの小宴会の座敷
- テーブル席は 40 名様利用可
- 定食・丼物からカニ会席、おまかせ会席、オードブル、すっぽん鍋までご用意できます

◆ご予約・お問い合わせ

電話 0796(39)2500

<http://www.kasumi-kaito.com/>

本やタウン <http://www.honya-town.co.jp>

「本やタウン」でお探しの本、CD、DVD を検索&注文、お受取りは当店で!

手数料等一切不要! CD、DVD はご予約注文もできます!



Books & DVD

白鳩 書房

香美町香住区香住 1710-3
(香住区中央公民館降口)

Tel 36-1030

Fax 36-4060

Town News

まちの出来事



香住小学校 祖父母に学ぶ会 おじいちゃん、おばあちゃん、すっごーい (香住区香住)

2月7日香住小学校で、祖父母に学ぶ会が行われ、1年生の児童の祖父母21人が講師となり、竹とんぼ、お手玉、あやとり、おはしきこま回し、ゴム飛び、紙飛行機作り、まりつきの8種類の昔からの遊びを通して交流を深めました。授業が始まると、会場のあちこちで、児童が祖父母らを囲み、遊びのコツを学んでいました。

最初は「わすれたわあ」と話していた祖父母らも時間がたつにつれ、次第に遊びのコツを取り戻した様子で、お手玉のコーナーでは、お手玉唄も混じり2個3個と色とりどりのお手玉が宙を舞っていました。

竹とんぼの講師として参加した池本さんが「この日のために5日かけて竹とんぼを80本作りまし



た。後で皆さんにプレゼントします」と話すと、児童から「やったあ」と歓声があがりました。

竹とんぼにチャレンジした守山修平くん(香住区境)は「竹とんぼを飛ばすのが面白い。こんなのが作れるなんてすごい」とおじいさんの腕前に感心していました。

祖父母の皆さんも童心に帰って遊びに熱中し、あつという間に時間が過ぎていきました。

香美町さるカニ雪合戦第7回兵庫県雪合戦大会 雪不足もなんのその、体育館で白熱! (小代区実山)

2月3日と4日の2日間にわたり、第7回兵庫県雪合戦大会が開催され、町内外から66チーム約700人が参加。今年は残念ながら雪不足のため、雪球の代わりに室内公式球を利用し、小代中学校体育館などで競技を行いました。



香住区から参加した男性は「雪がなく残念でしたが、これはこれで盛り上がりつつあもしろかった。ただ、室内公式球は投げると曲がるので苦労した」と振り返りました。大会結果は次のとおりです。敬称略

一般の部▽優勝 村中高ア
カントレーズ(村岡区)、
2位 チーム酒の粕(新温泉町)、
3位 兵庫GTM(村岡区)、
レディースの部▽優勝 村岡御殿、
2位 チーム花子(宝塚市)、
3位 ランデブー(村岡区)、
ジュニアの部▽優勝 小代美少クラブ(小代区)、
2位 照来メッツチャンピオンズ(新温泉町)、
照来メッツファイターズ(同)



矢田川交流センター竣工、ふれあい雪まつり
集う、賑わう、寒さ吹っ飛ばす！
 (香住区三谷)

2月4日、香住区三谷の矢田川温泉南側で、人々の交流の場として建設された矢田川交流センターの竣工式の後、第26回矢田川遊湯まつり「ふれあい雪まつり」が開催され、大勢の人出で賑わいました。



参加者がスコップやスプレーペンキなどを使い、1時間半ほどかけ思い思いの作品を作り上げました。町長賞には、香住区大谷の中村玲雄くん一家の力作で、6つの地蔵の表情が豊かで心とお「かさ地蔵（写真左上）」が選ばれました。玲雄君は「6つの地蔵の大きさをそろえるのが難しかった」と感想を語りました。

会場では、凧揚げや宝探し、甘酒や豚汁のサービスなども行われ、子どもから大人まで、寒さを忘れて楽しんでいました。

村岡高校ボランティアサークルと宝樹保育園の交流会
紙芝居おもしろかったよ！
 (村岡区中西)

2月17日、村岡区村岡の宝樹保育園で、県立村岡高等学校のボランティアサークルの7人の生徒と園児の交流会が行われました。

高校生はナレーター、声優、音響などを分担し、放課後などに1カ月かけて作り上げた「みにくいあひるのこ」の紙芝居を行いました。園児たちは、お姉さんの丁寧で



優しい語り熱心に聞き入っていました。紙芝居の後、高校生も園児と一緒にダンスを楽しみ、親睦を深めました。今回の紙芝居と授業で作った布製玩具「絵合わせキューブ」が保育園にプレゼントされ、園児も大喜びでした。

サークルの部長の石原女依さん（2年生・村岡区神坂）は「紙芝居もちゃんと聞いてくれてうれしかった。今日の出来は80点」と笑顔で語りました。

第44回八チ北高原アルペンスキー大会
ここだけは、白銀の別世界！
 (村岡区大笹)

2月25日、村岡区の八チ北高原スキー場パノラマコースで、気温マイナス3度、くもり空の下、第44回八チ北高原アルペンスキー大会（主催 兵庫県スキー連盟ほか）が開催され、100人近い選手が気迫の滑りを見せました。



暖冬で雪不足の今シーズン。鉢伏山の山頂直下にあるこのグレンデは、天然雪がまだ十分にあり、下界とはまるで違う世界でした。選手たちは、スタート地点に立つと精神を集中し、合図とともに一気に滑り降りていきました。レース結果は次のとおりです。（敬称略）

- 優勝 田邊正和（村岡八チ北SSC）、同少年部の優勝 今井和希（村岡高）
- ▽同壮年の部▽優勝 小谷領人（新宮SSC）、同熟年の部▽優勝 中川正康（但東SSC）、女子部の部▽優勝 西村理絵（村岡高）

◆初心者テニス教室◆

香住硬式テニス協会では、初心者テニス教室(全4回)を計画しています。

▶とき

4月8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日) いずれも13:00～15:00

▶ところ

今子浦テニスコート(※雨天時は香住B&G海洋センターで行う場合あり)

▶受講料 1,200円(何回でも同一)

▶申込み期限 3月31日(土)

▶問い合わせ(申し込み)先

香住B&G海洋センター

☎0796・36・2467

そのほか

◆住宅用火災警報器の

不適正な訪問販売にご注意◆

住宅用火災警報器の設置義務化に伴い、不適正な訪問販売による被害が発生しています。

消防、役場職員が訪問販売することはありません。住宅用警報機は1個5,000円～9,000円でホームセンターなどで購入でき、取り付けも簡単です。不審な場合は、きっぱりと断り、消防や最寄りの消費者生活センターへ相談してください。

▶問い合わせ先

美方広域消防本部予防課

☎0796・92・0119

◆お詫びと訂正◆

広報「ふるさと香美」第24号(平成19年2月号)の記事に、以下のとおり誤りがありました。関係者のみなさまには大変ご迷惑をおかけいたしましたことをお詫びして、訂正いたします。

・22ページに「ひようご防災ネット」とありますが、正しくは「ひようご防犯ネット」でした。

・22ページの『慎んで、お悔やみ申し上げます』中、亡くなられた方のお名前が「高橋ひろ子」さんとありますが、正しくは「高橋正子」さんでした。

求人情報				ハローワーク香住(職業安定所)			
☎0796・36・0137				(平成19年2月20日現在、順不同)			
▽正社員				▽正社員			
事業所名	職種	年齢	人数	事業所名	職種	年齢	人数
(有)セイシン創建	営業(土木、地盤改良工事)	50以下	1	(株)大城土建	現場監督	不問	1
(有)K-SIN TRANSPORT	運転手(長距離)	40以下	3	田野電機商会	電気工事士(見習可能)	30以下	2
(有)小谷工務店	土木施工管理技師(1級)(2級可能)	45以下	1	▽パートほか(正社員以外)			
(有)西本設備	配管工	不問	1	事業所名	職種	年齢	人数
(株)ステップ	事務	20～30	1	山本クリニック	看護師	不問	1
但馬ディーゼル(有)	一般事務	不問	1	ライム ライト	接客係	20～35	2
(株)香住自動車教習所	教習指導員	35以下	1	キコーナ	ホール業務	20～36	2
山田歯科医院	歯科衛生士	35以下	3	(株)香住観光公社	接客	不問	3
BAR凸凹	店長候補	35以下	1	(株)香住観光公社	フロント業務	50以下	1
川戸自動車工業(株)	自動車整備士	35以下	1	国土交通省 近畿地方整備局舞鶴港湾事務所	事務補助(非常勤職員)	不問	1
(有)カネニ寺川商店	水産加工員	不問	1	たじま農業協同組合	訪問介護員(直行直帰型/村岡介護センター)	60以下	3
日本交通(株)	タクシー乗務員(香住営業所)	不問	2	モリタ食品(株)	事務	20～45	1
北近畿運輸(株)	現場事務(香住営業所)	20～40	1	(株)エムダッシュ	販売	不問	1
(株)トキフ	食品技術者	20～40	1	(株)カネリョウ商店	水産加工員	不問	1
(有)カネトモ水産	水産加工員	不問	2	(有)西増商店	水産加工員	不問	2
カネサ水産(株)	水産加工員	40以下	1	(有)磯金商店	カニの身抜き	不問	2
(株)日本海フーズ	営業・販売員(幹部候補)<香住>	20～35	3	(有)三吉(かに楽座甲羅蔵)	旅館業 雑用	18～55	4
(有)アイ・ティー	店長、副店長	不問	2	(有)三吉	旅館 清掃	18～55	2
エイフ電器(株)	オペレーター補助	45以下	2	(有)三吉	旅館 接客	20～55	4
エーカーズ	タイヤ販売・車販売	30以下	1	北但西部森林組合	林業	55以下	15
村瀬医院	薬剤師	50以下	1	入江精密工業(有)	アルミ部品の検査および軽作業	40以下	1
(株)西村工務店	建築施工管理技師	25～40	1	(株)日本健康の郷	レンタルスキー・カフェショップ店員	不問	3
ヨシオカテクノ(有)	機械オペレーター	不問	2	(株)日本健康の郷	一般事務	不問	1
	組立および検査	不問	1	(株)日本健康の郷	清掃、床敷、洗い場、駐車場調理補助、接客係	不問	4
				(株)グルメ杵屋	フロント業務	不問	2
				ロツジカドマ	接客応対	不問	6

◆町内郵便局の「配達センター化」のお知らせ◆

平成19年10月からの郵便局の民営・分社化に伴い、町内の郵便局は①郵便・貯金・保険の窓口業務と貯金保険の集金などの業務を行う「香住郵便局」「佐津郵便局」「村岡郵便局」(郵便局会社)と②郵便物の集配業務を行う「香住配達センター」「佐津配達センター」「村岡配達センター」(郵便事業会社)、③郵便・貯金・保険の窓口業務のみを行う郵便局(余部・柴山港・香住森・小代・福岡・射添・原郵便局)に分けてサービスを提供させていただきます。

なお、郵便物を効率的に運送し、お客さまに早くお届けする観点から、香住配達センター・佐津配達センターについては「豊岡統括センター」(現豊岡郵便局)で、村岡配達センターについては「八鹿統括センター」(現八鹿郵便局)で行うこととなります。この移行作業を円滑に進めていくため、3月19日(月)から配達センター化をする予定ですのでご理解とご協力をよろしくお願い致します。

▶問い合わせ先

香住郵便局 ☎0796・36・0050 佐津郵便局 ☎0796・38・0100

村岡郵便局 ☎0796・94・0050

お誕生 こんにちは、赤ちゃん

ご逝去 慎んで、お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月(1/31～2/27)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)



※このコーナーは、先月(1/31～2/27)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)

けいじばん

募 集

◆町臨時職員◆

▶募集職種と採用人数

放課後児童クラブ指導員

①放課後児童クラブふれあいむらあか
(村岡小学校内)・・・3人

②放課後児童クラブふれあいうづか
(兎塚小学校内)・・・2人

▶採用予定日 4月1日

▶勤務条件など

①は3人の指導員で1日2人体制
のローテーション勤務

②は2人の指導員でローテーション
勤務

・時給800円(通勤手当別途支給)

・月曜から金曜は、幼稚園・小学校
終業時から18:00まで勤務。土曜
日、学校の臨時休業日、長期休業
日は8:00～18:00の勤務。

▶採用資格

町内に住所を有する健康な人

▶採用・応募方法

市販の履歴書(写真貼付)を役場
総務部総務課または各地域局地域振
興課へ提出してください。3月下旬
に面接を行います。

▶応募締切 3月20日(火)

▶問い合わせ(提出)先

役場総務部総務課

☎0796・36・1111

村岡地域局地域振興課

☎0796・94・0321

小代地域局地域振興課

☎0796・97・3111

◆かすみ・矢田川温泉

喫茶・軽食貸し店舗◆

▶入居条件

・原則として、営業は午前9時から
午後9時までの時間内、水曜日は
休み。

◆主な施設の連絡先◆

香美町役場本庁舎	36・1111	公立香住総合病院	36・1166
〃 下水道課	39・20531	公立村岡病院	94・0111
〃 水道課	36・0420	香住地域福祉センター	36・4345
〃 村岡地域局	94・0321	香住老人福祉センター	36・5008
〃 小代地域局	97・3111	村岡老人福祉センター	98・1000
香美町教育委員会	94・01011	小代高齢者生活支援センター	97・2202
〃 香住分室	36・3764	(全ての施設の市外局番:0796)	
〃 小代分室	97・3966		

・家賃は、月額25,000円で1年毎
の更新。敷金は家賃の6ヵ月分。
・光熱水費、通信費などは実費。
・食品衛生法の規定による喫茶店ま
たは飲食店の営業許可など行政手
続きは入居者が行う。

▶入居可能日 4月1日以降

▶申込期限 3月16日(金)

▶問い合わせ(申し込み)先

役場産業部観光課

☎0796・36・1111

◆海上保安学校学生(特別)◆

▶試験区分 船舶運航システム課程

▶受験資格

・昭和58年4月2日以降生まれで

①高校卒または平成19年9月までに
高校卒業見込みの者②中等教育学校
または平成19年9月までに中等教育
学校卒業見込みの者③高専の第3学年
の課程終了の者④高等学校卒業程度認
定試験(廃止前の大学入学資格検定を
含む)に合格した者など人事院が①②
と同等の資格があると認める者

▶受験案内など配布開始日

3月12日(月)

▶受付期間

4月2日(月)～4月9日(月)

▶試験日

第1次5月20日

第2次6月15日(金)～22日(金)

▶問い合わせ先

香住海上保安署

☎0796・36・4999

開 催

◆但馬地域『聞こえ』を学ぶセミナー◆

「聞こえない、聞こえにくい」か
ら生じる生活上のさまざまな問題に
ついて、障害の有無に関係なく交流
の中でみんなで考えていきます。

▶とき

3月25日(日)13:00～16:00

▶ところ

豊岡市民プラザ(豊岡アイティ7階)

▶参加者 約100人

▶参加費 無料

▶問い合わせ先

『聞こえ』を学ぶセミナー実行委員会
(たじま聴覚障害者センター)

FAX 0796・24・8008

県立聴覚障害者情報センター

☎078・805・4192

◆村岡高校第5回湯舟川コンサート◆

関西吹奏楽連盟創立70周年記念
事業『ふれ愛コンサート』にも参加
した県立村岡高等学校吹奏楽部の皆
さんによる演奏会。入場無料。

▶とき

3月18日(日)

14:00開演(13:30開場)

▶ところ

村岡体育館(村岡地域局横)

▶賛助出演

村岡中学校吹奏楽部

▶問い合わせ先

県立村岡高等学校

☎0796・94・0201

◆年金相談所◆

年金に関する疑問や不安について、
兵庫社会保険事務局豊岡事務所の職
員がお答えします。

▶とき

3月27日(火)10:00～16:00

▶ところ

香住区中央公民館 1階視聴覚室

▶その他

年金手帳などの基礎年金番号のわか
るものをご持参ください。

▶問い合わせ先

兵庫社会保険事務局豊岡事務所

☎0796・22・3196

役場健康福祉部町民課

☎0796・36・1111

◆結婚相談所◆

▶開催日程

日時	場所
3/15 9:30 (木)～12:00	村岡老人福祉センター (村岡区中西)
3/29 13:30 (木)～16:00	香住老人福祉センター (香住区駅前)
13:30 ～16:00	いこいの里 (小代区忠宮)

▶問い合わせ先

香美町社会福祉協議会

☎0796・39・2050

はこめがね

箱眼鏡の向こうに広がる世界

豊かな海

いそ み

磯見漁

せんかい 浅海漁業



ふるさと香美 (第24号) 平成19年3月8日発行
発行/兵庫県香美町 企画編集/総務部企画課

〒669-6592 兵庫県美方郡香美町香住区香住870の1
tel 0796・36・1111 fax 0796・36・3809

電子メール info@town.mikata-kami.lg.jp
ホームページ http://www.town.mikata-kami.lg.jp



▲獲れたてのサザエやアワビ



▲箱眼鏡を口にくわえ、右手で竿を、左手で船外機を



▲夜明け前に競って出漁



▲波風の穏やかな日、お目当ての漁場に

リアス式で複雑に入り組んだ香住海岸では、波風の穏やかな“なぎ”の日には、冬場でも伝統的な漁法「磯見漁」が盛んに行われています。

磯見漁は、航行用と操船用の大小の船外機を積んだ1ト未満の船に乗り、先端の金具や長さの異なる15本ほどの竹竿を使い分け、漁を行います。船から上半身を乗り出し、箱眼鏡を口にくわえ、一方の手で竿を、もう一方の手で船外機のハンドルを握り器用に船を操りながら、サザエ、アワビ、ワカメ、ジンバなどの貝類や海藻類を探し当てます。岩によく似たサザエなどを見分けるには、経験と視力が決め手です。

穏やかな日に出漁するとはいえ、冬場は指先の凍るような寒さの中、潮風をまともに浴びながらの厳しい仕事です。それでも、それぞれ目当ての漁場に向かって日の出を待たずに船を出します。

この日の漁を終えた下浜漁業者組合の浅海部門代表の濱上幸雄さん(写真左上)は「磯見のものは箱眼鏡をくわえるしけ、歯がぼろぼろになるし、昔に比べて眼も悪くなったし、ええことねえなあ。それでも磯見が好きなんだからなあ」と海を眺め一服しながら語ってくれました。

第1回青少年育成町民集会の総括講演の中で、犯罪を起こした少年が自分の存在を「透明」と表現するという話がありました。自分の居場所や存在意味がなかったということなのでしょうが、香住二中の取材の時、どの先生も受け持ちなどに関係なく「よかったな」「がんばったな」と生徒に声をかけられることを聞きました。生徒は、声をかけられることで、自分の存在が認められたことや自分がしたことの素晴らしさに気づき、自分に自信が持て、「またがんばろう」と意欲が湧くのだらうと思います。二中の生徒は、学校だけでなく道端でも、とても気持ちのいい挨拶をしてくれます。挨拶は「私はここにいます」という自己アピールであり、挨拶をしないのは「私を放っておいて」という気分か、社会とかかわりを持つことに何の期待もないということの表れなのかも。つまり、挨拶ができる子ども、自分を表現できる子どもは「透明」ではないのですね。得手不得手あり、子どもたちの「色」は千差万別。種類や濃淡の違う色を表すには、白いキャンバスが必要です。子どもたちが生きていくこのキャンバスの良しあしは、私たち大人にかかっているのではないのでしょうか。(中西)

編集後記

まちのうごき

(平成19年2月1日現在)

合計	22,246人 (-25)
男	10,610人 (-9)
女	11,636人 (-16)
世帯数	6,977世帯 (-1)

カッコ内は前月比



この広報ふるさと香美は、自然環境を考えてソイ(大豆油)インキ、再生紙100%を使用しています。